

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	企画調整室 計画担当課長	連携担当課
基本施策名	02ロジスティクスハブ機能の強化				
個別施策名	10臨海部道路ネットワークを充実する		連絡先	052-654-7911	
事務事業名	02広域幹線道路網整備の支援				

1 PLAN(目的・概要)

目的	広域幹線道路網整備を支援し、事業化につなげます。	事業期間	平成16年度～継続
概要	関係機関と連携し、国への要望活動に参加します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	平成20年度に引き続き、要望活動(東京)を行いました。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
広域幹線道路網整備の要望活動	単位	目標	2	2	2	-	-	要望活動回数の実施回数を合計します。
	回	実績	3	4	1			
事業費	単位	目標						
		実績						
人員 正規職員	単位	千円						
		人	0.14	0.14	0.14	0.11		
嘱託職員	人							
人件費相当額	千円	1,216	1,228	1,201	966			
事業費・人件費の合計	千円	1,216	1,228	1,201	966			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
要望道路の事業化	単位	目標	-	-	-	-	-	要望道路(路線)の事業化に向けた事業単位毎の事業化件数を合計します。
	件	実績	0	1	0			
	達成率(%)							
観点	単位	目標						現状の「見える化」
		実績						
	達成率(%)							
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・広域幹線道路の整備は極めて公共性の高い事業であることから、関係地元自治体などと連携し主体的に実施する必要があります。 ・広域幹線道路整備は、名古屋港利用者団体からの要望は常に高いです。					その他特記事項
	目的・水準の妥当性	有・(無)						
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)						
有効性	成果の達成度	(有)・無	・政権交代に伴う要望の内容や手法の検討が必要です。					
	内容の妥当性	(有)・無						
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)	・広域幹線道路の整備は極めて公共性の高い事業であることから、実施主体は妥当であると考えます。					
	受益者負担の適正性	有・(無)						
	経済性	有・(無)						

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			今後も支援業務は継続していくものの、成果が間接的すぎることから、本組合の評価対象にはふさわしいとはいえないため。
		維持			
		縮小			
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		政策体系の事務事業としては、休廃止としましたが、広域幹線道路網整備は、名古屋港利用者団体からの要望(ニーズ)が高く、中部経済発展には欠かせないものです。 よって今後も、愛知県・名古屋市・経済界と調整の上、要望を効率的に行って行きたいと思えます。			